

資格科目〈キッズ・イングリッシュ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教職概論 (中高)			13809	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭	中学校教頭	小学校校長	

授業の到達目標

教職の意義、教員の役割を理解する。学校教育や教員をめぐる今日的な課題を学ぶ。教員の資質能力と職務内容について身に付けることを目標にする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

学校教育や教職の在り方について理解し、教員の資質や能力の向上、研修方法について学ぶ。さらに、学校制度の歴史的な変遷や諸外国の制度との比較から、現在の公教育の意図を考察する。

授業計画

- 1 授業内容のガイダンス、教職の社会的な意義
- 2 教員の服務と義務
- 3 学校制度の変遷と教員養成
- 4 公教育の目的と教員の役割
- 5 学校の組織と運営における教員の役割
- 6 教員の研修の意義と制度
- 7 教員に求められる資質能力
- 8 教科と教科外の指導
- 9 教師力と教員の評価
- 10 学校種間の連携、部活動指導での教員の役割について
- 11 地域社会との連携における教員の役割
- 12 教員の人権感覚
- 13 チーム学校の在り方と危機管理
- 14 教職とボランティア活動の関係
- 15 職業としての教職の在り方

授業の方法

講義を主とするが、ディスカッションと発表を取り入れる。また考察シートやレポートにより自己の考えを深めたり、知識の定着を図ったりする。

準備学修

指示されたテキストを事前に読んで理解したり、教育関連の情報を積極的に収集すること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむを得ず欠席する場合は事前事後に届け出ること

テキスト

「小学校学習指導要領（平成29年告示）」（文部科学省）

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

毎回、授業のレジメや資料を整理保存し、最後に講義メモを添えて提出してもらいます。

教員連絡先

matsui@kaisei.ac.jp

資格科目〈キッズ・イングリッシュ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教職概論 (キッズ)			13809	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、	私立保育所	保育士	

授業の到達目標

教職の意義や教員の役割を理解する。学校教育や教員をめぐる今日的な課題と対応の事例などから学校教育に期待される役割や、今後の教員に求められる資質能力について学び自らの適性を見出す。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

社会の急激な変化に伴い様々な課題に直面している学校教育や就学前教育の現状について詳述し、調査、発表の機会をもつ。チームとして諸課題に対応する学校の在り方や教員・保育士・指導員の職務内容、服務上や身分上の義務について理解し、自ら目指す教師・保育者・指導員像を明確にもつようにする。

授業計画

- 1 「教職概論」科目の特性と概要
- 2 教職の意義
- 3 幼稚園教育と小学校教育
- 4 教員の歴史、女性と教職
- 5 学校の組織と運営
- 6 教員の職務内容
- 7 教員に課せられる服務上・身分上の義務と身分保障
- 8 学び続ける教員へ（教員のライフステージと研修制度）
- 9 国際化・情報化と教員の役割
- 10 学校における社会体験とキャリア教育
- 11 様々な問題行動とカウンセリングマインド
- 12 特別な支援を要する幼児・児童への対応
- 13 学校（園）・地域・家庭の連携と役割
- 14 チーム学校の意義と実際について
- 15 今後の教員に求められる資質・能力（専門職としての教員）まとめを行ってから試験をする

授業の方法

講義を主とするが、ディスカッションと発表を取り入れる。またリフレクションシートや自修シート他の作成により自己の考えを深め、知識の定着を図る。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①リフレクションシートや課題レポートの提出を2回求め、講義中にフィードバックを行う。
- ②平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点の減点とする。

テキスト

古橋和夫（編）『新訂 教職入門 未来の教師に向けて』2018年（株）萌文書林

参考図書

秋田喜代美、佐藤学編著 『新しい時代の教職入門』改訂版 有斐閣アルマ 文部科学省『小学校学習指導要領』『幼稚園教育要領』内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』

留意事項

保育士資格と幼稚園教員免許の併有による「保育教諭」としての要請も高まりつつある。教員・保育士・指導員を目指す学生としての意識を高もって授業に臨んでもらいたい。

教員連絡先

mori@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・イングリッシュ・教職〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育相談(カウンセリングを含む)	教職中等	13852	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
濱田 誠二郎	選択	2	学校心理士SV、臨床心理士、公立小教員		

授業の到達目標

中高の児童・生徒が自己理解を深め、さらに他者受容へとつなぐ受講生に子どもの心理的特徴や課題を引き出し支援する基礎的な知識と技術を身につけるようになることをめざす。このクラスではKAISEIパーソナリティーのK（思いやり）、I（知性）、S（奉仕）をめざす。

授業の概要

日本には数多くのカウンセラーの資格があるが、来談者が望んでいることは、心の叫びやつぶやきをきちんと受け止めてくれることであろう。対人専門職をめざす者は、現在の主たるカウンセリング理論を概観した上で、自分に合ったスタイルの技法を学び続けてほしい。授業では、事例を多く採り入れて、実践に生かせるよう学習する。

授業計画

- 1 学校での教育相談を学ぶにあたってその意義を理解する。
- 2 学校独自の課題の把握の必要性を学ぶ。
- 3 傾聴、共感など学校におけるカウンセリングマインドキーワードについて知る。
- 4 カウンセリングマインド等教育相談に必要な基本を体験する。
- 5 学校でのいじめで、児童・生徒のシグナルや早期発見方法を理解する。
- 6 個々の問題行動の本質理解に必要なカウンセリングマインドを生かしたコミュニケーションを体験する。
- 7 カウンセリングを通じて自己理解、他者受容する技術について知る。
- 8 気持ちの良いクラスづくりに欠かせない相互受容の大切さを理解する。
- 9 学級内を明るく気持ちの良い雰囲気にするための心理教育を体験する。
- 10 非行・問題行動の善後策としての保護者への対応の仕方を理解する。
- 11 学級崩壊が生じたときの教育相談としての役割を理解してその教育技術について学ぶ。
- 12 学校で虐待を発見する手立て、確認した後の動きや支援の在り方を学ぶ。
- 13 児童・生徒の発達課題を学び、保護者相談に生かせるように事例から学ぶ。
- 14 不登校などの問題を 人が抱え込むことがないように校内体制

の整備計画について学ぶ。

- 15 学校だけでは支援しきれない事案に備えて地域の医療、福祉等専門職との連携の必要性を理解する。

講義後に試験を実施

授業の方法

講義を主とするが、双方向の討議もとり入れて受講者が主体的に参加できる授業形式もとり入れる。

準備学修

子どもに関する社会問題等、自分の生活経験から判断するだけでなく、複数の視点で考える習慣を身につける。

課題・評価方法、その他

平常点30%、定期試験70%

欠席について

学内規定に準ずる

テキスト

必要な場合授業時に指示する

参考図書

授業時に紹介する

留意事項

本授業は、教育現場では誰もが直面する課題を数多く取り上げるので、授業後に自分の考えを持つことが大切である。

教員連絡先

shamada@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・イングリッシュ・教職〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
道徳教育指導論	教職中等	13829	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
松井 敦	選択	2	中学校教諭 中学校教頭 小学校校長		

授業の到達目標

道徳教育の基本的な概念を学習し、道徳的な実践力を養う。さらに学校での道徳教育の指導法を考察し、道徳教育指導案の作成と授業を経験する。このクラスではKAISEIパーソナリティーI（知性）を養う。

授業の概要

道徳の意義や原理を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解する。また、多様な道徳教育の指導法を学修し、実際の教科書を使用して模擬授業を行う。さらに、今後の道徳教育の在り方について考察し、実際の取り組みについて学ぶ。

授業計画

- 1 はじめに・道徳教育の基礎理論
- 2 道徳教育の歴史(江戸～明治～戦前)
- 3 道徳教育の歴史(戦後～現代)
なぜ「特別の教科」なのか
- 4 「特別の教科」道徳の目標について
- 5 道徳教育と教育課程の関連について
- 6 生徒の心理と道徳教育の関わり
- 7 学校における道徳教育指導体制
- 8 道徳教育の指導計画について
- 9 道徳教育指導法(内容項目の詳細)
- 10 道徳教育指導法(指導案の書き方)
- 11 道徳教育指導法(ロールプレイ)
- 12 保育所・幼稚園・小学校における道徳教育
- 13 中学校・高等学校における道徳教育
- 14 諸外国の道徳教育事情
- 15 道徳教育の今日的な課題、まとめ

授業の方法

レジュメや資料を中心に授業を進める。発表、模擬授業、ロールプレイも取り入れる。

準備学修

過去に学校で学習した道徳の時間や道徳的な行事を思い返しておく

こと。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむをえず欠席する時は事前事後に届けること

テキスト

文部科学省編「中学校学習指導要領解説（特別の教科道徳編）」最新版

参考図書

神戸市立中学校の道徳の教科書「中学道徳 あすを生きる」1・2・3・年用（日本文教出版）

留意事項

授業中に配布した資料をもとに、毎回レポートを作成します

教員連絡先

matsui@kaisei.ac.jp

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教職概論（小）			17613	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭	中学校教頭	小学校校長	

授業の到達目標

教職の意義、教員の役割を理解する。学校教育や教員をめぐる今日的な課題を学ぶ。教員の資質能力と職務内容について身に付けることを目標にする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

学校教育や教職の在り方について理解し、教員の資質や能力の向上、研修方法について学ぶ。さらに、学校制度の歴史的な変遷や諸外国の制度との比較から、現在の公教育の意図を考察する。

授業計画

- 1 授業内容のガイダンス、教職の社会的な意義
- 2 教員の服務と義務
- 3 学校制度の変遷と教員養成
- 4 公教育の目的と教員の役割
- 5 学校の組織と運営における教員の役割
- 6 教員の研修の意義と制度
- 7 教員に求められる資質能力
- 8 教科と教科外の指導
- 9 教師力と教員の評価
- 10 学校種間の連携、部活動指導での教員の役割について
- 11 地域社会との連携における教員の役割
- 12 教員の人権感覚
- 13 チーム学校の在り方と危機管理
- 14 教職とボランティア活動の関係
- 15 職業としての教職の在り方

授業の方法

講義を主とするが、ディスカッションと発表を取り入れる。また考察シートやレポートにより自己の考えを深めたり、知識の定着を図ったりする。

準備学修

指示されたテキストを事前に読んで理解したり、義務教育関連の情報を積極的に収集したりすること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむを得ず欠席する場合は事前事後に届け出ること

テキスト

「小学校学習指導要領（平成29年告示）」（文部科学省）

参考図書

必要に応じて適宜紹介する。

留意事項

毎回、授業のレジメや資料を整理保存し、最後に講義メモを添えて提出してもらいます。

教員連絡先

matsui@kaisei.ac.jp

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教職概論（幼保）			17613	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、	私立保育所	保育士	

授業の到達目標

教職の意義や教員の役割を理解する。学校教育や教員をめぐる今日的な課題と対応の事例などから学校教育に期待される役割や、今後の教員に求められる資質能力について学び自らの適性を見出す。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

社会の急激な変化に伴い様々な課題に直面している学校教育や就学前教育の現状について詳述し、調査、発表の機会をもつ。チームとして諸課題に対応する学校の在り方や教員・保育士の職務内容、服務上や身分上の義務について理解し、自ら目指す教師・保育者像を明確にもつようにする。

授業計画

- 1 「教職概論」科目の特性と概要
- 2 教職の意義
- 3 幼稚園教育と小学校教育
- 4 教員の歴史、女性と教職
- 5 学校の組織と運営
- 6 教員の職務内容
- 7 教員に課せられる服務上・身分上の義務と身分保障
- 8 学び続ける教員へ（教員のライフステージと研修制度）
- 9 国際化・情報化と教員の役割
- 10 学校における社会体験とキャリア教育
- 11 様々な問題行動とカウンセリングマインド
- 12 特別な支援を要する幼児・児童への対応
- 13 学校（園）・地域・家庭の連携と役割
- 14 チーム学校の意義と実際について
- 15 今後の教員に求められる資質・能力（専門職としての教員）まとめを行ってから試験をする

授業の方法

講義を主とするが、ディスカッションと発表を取り入れる。またリフレクションシートや自修シート他の作成により自己の考えを深め、知識の定着を図る。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

- ①リフレクションシートや課題レポートの提出を2回求め、講義中にフィードバックを行う。
- ②平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点の減点とする。

テキスト

古橋和夫（編）『新訂 教職入門 未来の教師に向けて』2018年（株）萌文書林

参考図書

秋田喜代美、佐藤学編著 『新しい時代の教職入門』改訂版 有斐閣
アルマ 文部科学省『小学校学習指導要領』『幼稚園教育要領』
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』

留意事項

保育士資格と幼稚園教員免許の併有による「保育教諭」としての要請も高まりつつある。教員・保育士を目指す学生としての意識を高くもって授業に臨んでもらいたい。

教員連絡先

mori@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲掲示板を確認のこと。

ET 教職科目 <ET 教職科目>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教職実践演習 (中・高)	ET	14214	IV	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
堀 正人／惣谷 美智子	選択	2	私立・公立中学校、私立高等学校教員 神戸市教育委員会指導課指導主事 中学校長		

授業の到達目標

中学校又は高等学校の教師を目指す学生が、教職課程科目で学修した教科指導や生徒指導等の内容について実践することを通して、それらの知識及び技能を修得したことを確認する。このクラスではKAISEIパーソナリティのA (自律)、I (知性)、及びE (倫理)を養う。

授業の概要

中学校及び高等学校の教師として必要な知識や技能である(1)使命感・責任感・資質に関する知識、(2)社会性や対人関係能力、(3)教科の指導力について十分に修得できているかどうかをグループ討論、ロールプレイング、模擬授業で確認していく。また、実際の現場を見学することで、修得した知識・技能がどのように活用されているかをまとめる。

授業計画

- 1 イントロダクション これまでの学習や教育実習について(1)～講義、発表
- 2 教師としての使命感や責任感、資質について(1)～講義
- 3 教師としての使命感や責任感、資質について(2)～グループ討論
- 4 教師としての社会性や対人関係能力について(1)～講義とグループ討論
- 5 教師としての社会性や対人関係能力について(2)～ロールプレイング
- 6 生徒の理解や学級経営について(1)～討論
- 7 生徒の理解や学級経営について(2)～グループ討論
- 8 学級経営案の作成とグループ討論
- 9 学校現場の見学(1)～見学、調査
- 10 学校現場の見学(2)～教職経験者の講話とグループ討論
- 11 教科の指導力について(1)～講義
- 12 教科の指導力について(2)～グループ討論
- 13 教科の指導力について(3)～模擬授業とその振り返り
- 14 資質能力の確認・まとめ(1)～小論文とアンケート
- 15 資質能力の確認・まとめ(2)～講評

授業の方法

講義の中でグループ討論を行う。ロールプレイング、模擬授業も行う。

う。

準備学修

次回のテーマに関するハンドアウトをあらかじめ配布するので、それを読み、その中に示されている課題を仕上げてくること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

出席点(100点満点)は全体の20%とし、欠席は1回につき20点減点、遅刻・早退は1回につき6点減点する。

テキスト

適宜、ハンドアウトを配布する。

参考図書

授業中に随時紹介する。

留意事項

教職に対する情熱をもって授業に参加・貢献する誠実な態度が必要である。実際の中学校を訪問し随時研修を行うので、平素から服装等に配慮すること。

教員連絡先

soya@kaisei.ac.jp
mhorik@kaisei.ac.jp

ET 教職科目 <ET 教職科目>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
生徒指導論	教職中等	14217	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
松井 敦	選択	2	中学校教諭 中学教頭 小学校校長		

授業の到達目標

生徒指導の理論と方法、教育相談、進路指導について学ぶ。この講座ではKAISEIパーソナリティのA (自律) でコミュニケーション能力を養い、事例研究の実践でK (思いやり:傾聴力)とI (知性) 状況把握力を高める訓練をする。

授業の概要

教科書(文部科学省「生徒指導提要」)を参考資料として授業を進める。生徒指導の方法や生徒理解について考察し、実際の取り組み方を学んでいく。さらに、教育相談の手法を学び、進路指導、キャリア教育も生徒指導の視点から考察する。

授業計画

- 1 生徒指導の意義と原理(集団指導、個別指導の方法原理)
- 2 学校運営と生徒指導の関連
- 3 教育課程と生徒指導(教科、道徳教育)
- 4 教育課程と生徒指導(総合的な学習の時間、特別活動)
- 5 キャリア教育と生徒指導の関わり
- 6 生徒の心理分析と理解の方法
- 7 学校における生徒指導体制を学ぶ(実際の中学での見学体験)
- 8 教育相談の進め方(カウンセラー、専門機関)
- 9 生徒指導の進め方(支援体制、関係機関との連携)
- 10 生徒指導における教職員の役割
- 11 進路指導における生徒指導について
- 12 課題別生徒指導の考察
- 13 生徒指導に関する法制度について
- 14 生徒指導短縮事例研究(前半)
- 15 生徒指導短縮事例研究(後半)、まとめ

授業の方法

レジュメに従って授業を行う。また、配布した資料をもとに事例研究を行い考察をする。

準備学修

テキスト「生徒指導提要」(文部科学省)を読んでおくこと。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

やむをえない事情があるときは、事前事後に届け出ること。

テキスト

文部科学省編「生徒指導提要」最新版

参考図書

随時、紹介する。

留意事項

授業中に配布した資料を基に考察し、毎回レポートを作成する。臨地研修として、1回は近隣の中学校を訪問し見学する予定です。平素から服装等に配慮すること

教員連絡先

matui@kaisei.ac.jp